

吹田市中核市移行についての意見交換会で付箋等に記入いただいた 市民意見と市の考え方について

- 1 開催日 平成30年（2018年）6月11日（月）、6月24日（日）
- 2 意見提出件数 193件（付箋 138枚、A4用紙 16枚）
- 3 市民意見と市の考え方 下表のとおり

	市民意見	市の考え方
1	中核市長会に加入することで全国的な災害時の支援が可能となることを基本計画に追記すべき。（松本市の基本計画参照して頂ければと思います）	記載内容を補強することになるため、「(4)中核市市長会」の3段落目に「また、中核市相互の協力による取組として、災害により被害を受けた都市が独自では十分な応急措置が実施できない場合に、被害を受けていない都市が相互に応援協力することを目的に、中核市災害相互応援協定を締結することになります。」と追加しました。
2	保険所設置に係るイニシャルコスト、ランニングコスト	保健所のランニングコストにつきましては、平成28年度（2016年度）における府の積算によりますと、222,352千円となっており、計画（案）の中で、事業費の分野ごとの内訳を、お示しさせていただきました。 なお、イニシャルコストにつきましては、計画（案）の42ページに、先行市の中核市移行に係る初期費用をお示ししています。
3	児童相談所の設置のランニングコスト、ランニングフィー（国からの交付金）	子供の命を守り、健やかな成長に手を差し伸べていくことは、行政にとって優先して取り組むべき課題のひとつであると認識しています。 まずは、中核市への円滑な移行を目指しており、次のステップとして、子ども家庭センター（児童相談所）の設置について、ご意見も踏まえ、検討してまいります。
4	コストだけでなく子供の命に係ることなので慎重に対応すべき	
5	金沢、横須賀の2市の平均値 コスト：12億、フィー：4億 マイナス8億	
6	○児童ぎゃくたいに対する対応に今後期待する。	
7	設置要件は中核になれば、子家センが持てる？	
8	中核市に移行する必要性、効果、緊急性がない。	本市の人口は、現在は増加傾向にあります。が、少子高齢化が着実に進んでおり、いずれは人口減少に転じることが予測されています。また、7年先には、6.6人に一人が、75歳以上という社会を迎えようとしています。 このような状況の中、中核市移行により、自治体の規模や特性に応じた役割を担い、自治権限を強化することで、市民の暮らしをしっかりと支える施策を着実に進めていく必要があると考えています。
9	急いで決める必要なし	

	市民意見	市の考え方
10	本計画を一般市民が十分に理解できるように、さらにわかりやすい説明につとめて下さい。	市民の皆様への周知を図るため、計画（案）の概要版の全戸配布、意見交換会、出前講座等を実施しています。 情報発信や周知・説明につきましては、今後も引き続き必要であると考えておりますので、出前講座など、様々な機会を捉えて、丁寧な説明に努めてまいります。
11	費用対効果で行政は測れないというのは理解できた。その熱意の伝え方が重要？	
12	若者の興味を引くには？	
13	出前講座もっと宣伝してほしい。	
14	更なるPR	
15	何もかも市民の話を聞いては出来ないだろうけれども、やはり、重要と思われる案件は、相当な意見を聴く姿勢、覚悟をもって、対処して戴きたい。	
16	市民に対してもっと数も多く説明をして理解してもらう必要がある	
17	市民からの不満の具体化示してほしい	
18	デメリットを明示して市民の意見を求めるべき	
19	地元での集まりの際に説明に来てほしい意識の高い人を増やしたい（出前講座でしょうか）	
20	今日の説明は、メリットばかりでデメリットの説明なし。公正な説明会をしてほしい。	
21	（課題）「HP,HP」というが高レイ者はHPひらけられない	
22	フェイス to フェイスの工夫を	
23	急に計画されても、何も分からないし、資料をいただいても読むヒマもなし	
24	市民の人がもっと知っていく方法をつくらないとまた否定になるのでは。	
25	事前通知の工夫を	
26	一般市民にはまだピンとこないことが多いがこの様な説明会を数多く開催してほしい	

	市民意見	市の考え方
27	住民が参加しやすい地域に密接した形で健康に関する問題、独居老人、ひきこもり成人のいる家庭問題等、話しやすい形式を考えてください。	市民の皆様への周知を図るため、計画（案）の概要版の全戸配布、意見交換会、出前講座等を実施しています。 情報発信や周知・説明につきましては、今後も引き続き必要であると考えておりますので、出前講座など、様々な機会を捉えて、丁寧な説明に努めてまいります。
28	今日はじめて知った。既せい事実づくり？	
29	保健所設置に伴うメリットとデメリットを具体的に示し住民の意見をきいて判断すべきです。	
30	（期待）メリット：交付時間が短くなる。多くの人のメリットでないと感じた。説明の工夫を	
31	すでに中核市になっている高槻市等の具体的な成功例が知りたい 基本的には賛成（コストの裏付けをとった上で）	
32	税負担増は、中核市移行の如何にかかわらず自然（必然）増ありうる。そのあたりの説明不足	
33	30年後のイメージ具体的に 歳出/人口 →年齢別推移 歳出/人口 他の中核都市	
34	（課題）今のままで40年後はどうなるの？を示してほしかった	
35	もっと具体的なお話が聞けるのかと期待していましたが、少々残念でした。	
36	色々な事に関する意見交換会を多くやって欲しい。もう少し十分な時間が必要	
37	2016年～2017年にかけて、今回のような説明会、パブコメを求めなかったのか、いまだに理解できない	
38	中核市とならなくとも財政事情は悪化を迫っていると考えられるが、その見通しはどうか。中核市となった場合の財政事情と比較してどうか。	

	市民意見	市の考え方
39	まだまだ中隔都市の話は、知られていないし私の勉強不足を感じた。一つ一つの不安や疑問をていねいに解決していけるようにしていけないといけないと思う。	市民の皆様への周知を図るため、計画（案）の概要版の全戸配布、意見交換会、出前講座等を実施しています。 情報発信や周知・説明につきましては、今後も引き続き必要であると考えておりますので、出前講座など、様々な機会を捉えて、丁寧な説明に努めてまいります。
40	市民のことは市民の声をしっかり聞いて施策をきめてすすめてほしいと思います。	
41	中核市移行に向けて市民側は費用対効果が一番大きな不安それに対して行政は費用対効果では測れない。市の考えには賛成だが、「中核市になって何をするか」を具体的に、「こけた時の対処」が必要かと感じた。	
42	中核市でなくても、保健所を移している都市がある—メリットは？	中核市への移行は、住民にとって身近な行政サービスを、現場に近いところできめ細かく展開するという地方分権推進の基本理念に沿った取組です。市民に最も身近な基礎自治体として、できる限りの施策を担い、サービスを向上していくことを目的としています。 例えば、母子保健の業務のように、府と市がそれぞれ行っている業務を市に一元化することで、利便性の向上や相談体制の充実・強化を図ります。
43	中核市でないと出来ない政策、課題があるのか？あればそれを明示すること	
44	本日も説明いただいた現状の不足点、不効率なところを（中核市移行していない現状でも）改善しようとして、府（保健所など）と協議、相談されて来たのか？なぜ中核市移行しないと、うまく出来ない？	
45	保健所の強化は、中核市にならないと出来ないのか？	
46	（期待）ムリに中核市にならずにIT活用でいまあるものを維持向上させればよい（土台としてIT活用を考える）	
47	更なる府と市の連携いで解決できる部分はないのか	
48	むしろ連携い力をつける必要があるのでは。行政の一本化を目指すのはわかるがいろんなところに関わることの大切さもあるのでは	
49	中核にならなければ独自のことは本当にできないの	

	市民意見	市の考え方
50	某都市では、保健所が設置されていないため、遠方の他都市まで出向かわなければならないが、当吹田市では、市内に以前から保健所が設置さ	住民に最も身近な基礎自治体である本市が、中核市へ移行し、保健衛生の部門から、民生、環境、都市計画・建設、文教の各分野にわたり、身近な行政サービスの権限移譲を受けることで、現場に近いところで、効果的・効率的に行政サービスを提供していくことが可能となります。
51	費用に対する効果	中核市移行の必要性や本市の目指す姿、移譲される主な事務の概要とその効果等を計画（案）にお示ししておりますが、引き続き、市民の皆様にご理解いただけるよう、わかりやすく丁寧な説明に努めてまいります。
52	保健衛生の向上というが、福祉予算をけずろうとしている 吹田市の現状と矛盾するのでは？	中核市移行により、約11.6億円の歳出増加を見込んでいますが、これに対しては、国からの普通交付税や臨時財政対策債の発行等に対応することを想定しています。臨時財政対策債は、その元利償還金相当額の全額が、後年度の地方交付税の基準財政需要額に算入され、地方自治体の財政運営に支障が生ずることのないよう措置されています。
53	中核市移行によって、施策が後退しないことをきちんと約束することが必要です。	
54	（期待）質問？ 夏まつり：食品衛生が線引きが「なあなあ」になるとウワサあるか⇔今まで通り…	市が食品衛生業務を担うことにより、地域との関わりや関係機関との連携を生かした、よりきめ細かな監視指導を実施してまいります。
55	中核市になった後の問題点は？	中核市移行により、歳出増加を見込んでいますが、これに対しては、国からの普通交付税や臨時財政対策債の発行等に対応することを想定しています。 臨時財政対策債については、その元利償還金相当額の全額が、後年度の地方交付税の基準財政需要額に算入され、地方自治体の財政運営に支障が生ずることのないよう措置されています。
56	何も知らない状況での参加でした。少しは理解できたかと思います。勉強になりました。中核市への移行は時代の流れかとも思われるが、その後の問題点を知らせてもらいたい。	しかしながら、資産の形成に寄与しない地方債であり、また、市の収入状況によっては、必ずしも措置された額の交付を受けるとは限らないことから、新たに移譲を受ける事務の実施に当たっては、既存事務との整理、統合を図りながら、効果的、効率的に実施し、その発行はできる限り抑制してまいります。
57	市民のデメリットは金銭負担のみではない。市民が自治力を発揮して、行政依存を減ずる分の市民エネルギー提供もある	また、人材の育成についても課題であると考えており、特に保健所業務における人員の確保については、先行市と同様に、府に対し一定期間の府職員の派遣を依頼しています。派遣を受けている期間の中で、府職員から指導等を受けながら実務経験を積むことにより、円滑な業務遂行に必要な知識やノウハウの習得に取り組みます。

	市民意見	市の考え方
58	今回の具体案以外で中核市による効果はないか？	例えば、中核市に移行し、保健所を設置することで、住宅宿泊事業（いわゆる新法民泊）の実施に制限を設けることができますようになります。
59	中核市移行で保健所が吹田市に移管されると、保健所は量的にも質的にもよくなるのですか。今より、今までも、保健所はあまり縁がない…	保健所は、結核、感染症対策、精神保健、難病等の対人保健サービスと食品衛生、環境衛生等の対物保健サービス等、地域の保健衛生の中核的な役割を担っています。 中核市へ移行し、市民に最も身近な基礎自治体である市が保健所を運営することにより、地域の実情に応じたきめ細かな保健サービスの提供が可能となります。また、保健所に配置される医師をはじめとする多様な保健医療専門職が、これまで市が実施してきた母子保健、子育て支援、健康づくり等の施策に関することにより、保健サービスの質の向上を図ります。
60	医療法に関する本省への質問、要望、折衝は直接できることになりますか。	市保健所を設置し、医療法に基づく事務（医療機関に対する指導監督権限等）を有することにより、必要に応じ、関係省庁へ直接問い合わせや確認等を行う場合があると考えております。
61	国に対する折衝事項で府を通さなければならない事項のうち中核市になったら直接折衝できる例、主な事例紹介をしてほしい。	中核市として移譲を受けた事務につきましては、府を通さずに直接国とやり取りできるようになります。
62	保健所etc. が中核市になったとき人員はどう変化するのか？	中核市移行後の人員配置につきましては、先行市を参考に計画（案）の36ページにお示ししております。
63	人（職員）が不足する。	
64	職員がいいと言っているところがない→専門職はやりがいがある。一般事務は膨大な事務で忙殺されないか。	中核市移行後は、必要な人員体制を整備し、円滑な移行を進めてまいります。

	市民意見	市の考え方
65	削減はどこですか？	中核市移行により、約11.6億円の歳出増加を見込んでいますが、これに対しては、国からの普通交付税や臨時財政対策債の発行等に対応することを想定しています。 臨時財政対策債については、その元利償還金相当額の全額が、後年度の地方交付税の基準財政需要額に算入され、地方自治体の財政運営に支障が生ずることのないよう措置されています。 しかしながら、資産の形成に寄与しない地方債であり、また、市の収入状況によっては、必ずしも措置された額の交付を受けるとは限らないことから、新たに移譲を受ける事務の実施に当たっては、既存事務との整理、統合を図りながら、効果的、効率的に実施し、その発行はできる限り抑制してまいります。 将来的な制度変更は見通せませんが、現在の制度では、中核市移行によって、市の税金や公共料金が上がることはありません。
66	移行後の予算についての説明不足で、不安を感じました。	
67	借金地獄の夢を見る。	
68	中核市移行に伴う累積借金が具体的にどう推移するか説明がない。	
69	借金してまでなぜ中核市になるのか。将来に借金を残したくない。	
70	借金返さい、返せなかった時の対処	
71	多額の財政負担が吹田市にとって大きな課題。移行はあわてずに。	
72	財政によって債権（借金）によって、各施策がへらされることが心配になる。	
73	人の移動なので予算増は±で納得できない。	
74	臨時財政特別債の更なる負担8億が追加される	
75	りん債は合計単年度17億となる	
76	国の財政が赤字なのにお金が返ってくるのか？	
77	借金をむしろ次世代におしつけることになるのではないか。	
78	税金の負担が先々増えていくのではないか（国も府も赤字状況の中で）	
79	借金のつけは必ず市税の増につながると思うので信用出来ない	
80	デメリットで言われてる費用（財源） ①普通交付税、2.6億は必ず交付されるのか。 ②9億円の借金返済はどう。借金は増えるばかりで未来にわたって税金は増えないのか？	

	市民意見	市の考え方
81	(課題) 予算がどんどんふくらむことを懸念する	中核市移行により、約11.6億円の歳出増加を見込んでいますが、これに対しては、国からの普通交付税や臨時財政対策債の発行等に対応することを想定しています。 臨時財政対策債については、その元利償還金相当額の全額が、後年度の地方交付税の基準財政需要額に算入され、地方自治体の財政運営に支障が生ずることのないよう措置されています。 しかしながら、資産の形成に寄与しない地方債であり、また、市の収入状況によっては、必ずしも措置された額の交付を受けるとは限らないことから、新たに移譲を受ける事務の実施に当たっては、既存事務との整理、統合を図りながら、効果的、効率的に実施し、その発行はできる限り抑制してまいります。 将来的な制度変更は見通せませんが、現在の制度では、中核市移行によって、市の税金や公共料金が上がることはありません。
82	(課題) 予算→交付金/借金はいや	
83	本当に課税額に無関係というのは絶対か？	
84	(説明) 交付税でのカバーにがくぜんとした	
85	累積借金を明示すべき	
86	お金がいる	
87	少子化が進んだら税収は減る 毎年何十億もの借金をして中核市にならなくても吹田市としてできることはあるのでは？	
88	×赤字	
89	将来的に負担が増えるのではないか。	
90	医療費が市によって変化するが、税金は変わらないという理解でよい？	
91	特に将来的な部分への不安	
92	人が増えることへの財政の圧迫	
93	大阪府の赤字を吹田市が肩代わりさせられているように思えてならない	中核市移行に伴う費用は、普通交付税で措置されることになっており、市が中核市に移行すると、府に入る普通交付税は減少することになります。
94	中核市移行で吹田市は費用負担増。一方府は負担減となる。府税は減るのか否か	
95	(課題) 元教員していた大阪府採用の教員なのになんで吹田市内だけの研修なのか？大阪府全体の方が内容も充実するのでは？今まで通りでよいのでは	学校からのニーズを汲み取り、本市の実態に応じた市独自のきめ細かな研修や地域の特性を生かした研修を実施していくことで、教職員の資質の向上や確かな学力・地域に愛着と誇りを持つ子どもの育成につながると考えています。中核市移行後も近隣市との連携や交流は、重要であると考えており、引き続き取り組んでまいります。
96	市運営になると e x . 保健所、教育研修 府や他市との情報交流がなくなるのか？⇒独善にならない様に	

	市民意見	市の考え方
97	国・府へのかってな市へのおしつけでないか	中核市への移行は、住民にとって身近な行政サービスを、現場に近いところできめ細かく展開するという地方分権推進の基本理念に沿った取組です。市民に最も身近な基礎自治体として、できる限りの施策を担い、サービスを向上していくことを目的としています。
98	権限よりも責任が重くなるだけのようない気もする	
99	住民サービスを充実させてほしい。	
100	住民サービスの低下にならないようにして下さい。	
101	住み易い街になれば良い	
102	事務権限と自治権限のつながりは、今の市政の方向は弱者きりすてになっているのではないかという不信感からどうもこのはなしにはのりにくい	
103	市独自で決めることが多いとなると逆に悪い方に走ったりしないのか不安	中核市移行により、本市独自の条例を制定し、屋外広告物のきめ細かな規制や指導を行い、地域特性を生かした調和のとれた景観まちづくりを進めます。
104	景観を残せるような吹田市独自の条例などつくってほしい。	
105	市独自で景観を守り、よりブランド力の高い吹田市を目指す上でも重要である	
106	景観のことを意識していたが、市で何の手も打てなかったことが出来るようになることが一番大きい効果である	
107	職員の専門性を高めることになる	保健所の設置に必要な専門職については、大学や関係機関等への積極的な情報提供を行うなど、広く対象者への周知を図ることにより人材確保に努めます。 また、移行後の一定期間についても、府職員の派遣を依頼しています。
108	保健所の専門職の（不明）方策	
109	職員さんの勉強	
110	担当者の経験不足による障害？	
111	保健所の専門職の採用について、様々な自治体出身の行政経験者を中心に採用してもらい、採用後も近隣自治体、府と連携して、質の高い業務を提供してもらいたいです。（一緒にしたいです）	
112	民生委員の定数を市が決定出来ても委員の行動管理まで出来るのですか。現在は名前だけの人もいらっしゃるようですが。	民生委員に対し市独自の研修を実施することにより、民生委員としての資質の更なる向上を図ります。

	市民意見	市の考え方
113	先行市で移行後に実施されたアンケートはないのか。	久留米大学が、久留米市の中核市移行の一年後に市民を対象にアンケートを実施したと伺っています。
114	中核市移行への具体計画の政策案決定の庁内での議論の過程を知りたい	市のホームページにおきまして、庁内の中核市移行に向けた取組を発信しています。
115	今回の意見交、パブコメ等どのように反映するのか	いただいたご意見を参考にしながら、吹田市中核市移行基本計画を策定してまいります。
116	市民意見を聴くことなく、移行計画を進めているのは条例に反している。	施策を決定するに当たっては、調査や市民周知が必要となり、そのための予算を組むことになります。 市民の皆様への周知を図るため、計画（案）の概要版の全戸配布、意見交換会、出前講座等を実施しています。 計画（案）に係るパブリックコメントについては、計画（案）の策定後、吹田市民の意見の提出に関する条例に基づき、適正に実施しており、意見の提出期間も条例上は、30日以上と定めているところ、今回は、50日間を確保しています。
117	移行計画（素案）もない段階で、昭和30年度予算に3000万を計上している。	
118	平成30年3月時点で中核市移行計画案はたてていない。具体的計画がなくて予算を計上できるのか	
119	職員を配置したり予算をとったりしているのでは？	
120	×正式な手順を踏んでいないのではないのか→先行市よりは早い	
121	（課題）吹田市職員全体として中核市へと取り組めるのか？	平成29年（2017年）5月に、吹田市中核市移行推進本部を設置し、平成32年度（2018年度）の中核市移行を目指し、本格的な検討体制を整えました。中核市への移行に向けては、市民への周知はもとより、市職員自身が制度や内容について十分に理解し、更に、業務を遂行するうえでの心構えや対応策などをしっかりと学んでおくことが必要であるため、職員研修にも努めています。
122	市役所の仕事が増える。一方、現在でも庁内連携がうまく行われていない。今以上、タテワリ、ナワバリの弊害を懸念	庁内の連携については、中核市移行に関わらず、重要な課題であり、引き続き、その強化に努めてまいります。
123	市の中の横の連携をより深めていける組織になれますか？大いに努力しなくてはと思っています。	

	市民意見	市の考え方
124	アルコール健康障がい対策推進計画は府どまりである。当該計画の内容が市でも実施されるかどうか。	「イ きめ細かな地域保健、健康づくり施策の推進」における食育推進及びたばこ対策については、わかり易い代表的な事例として示したものです。アルコール対策についての記載はありませんが、その重要性は十分認識しており、必要な取組を進めます。 現在、府保健所と市と関係団体との連携により、アルコール依存症に関する相談業務や啓発活動などに取り組んでおり、中核市移行後もこれらの活動については継続して実施します。 なお、小・中学校では、すでに保健の授業において、アルコールの害についての教育を実施しています。
125	大阪府は推進計画の成果として土日の相談窓口（TEL）を開設した。吹田市も同様の対応が可能か。	
126	アルコール依存症の親を持つ児童、生徒を救済するために、教育委、市立学校との連携がうまくいくことを期待したい。	
127	市独自の行政、まちづくりをすすめたい。	中核市移行は目的ではなく、移行してからがスタートであり、「地域の保健衛生の推進」、「行政サービスの効率化・迅速化」、「特色あるまちづくり」の実現に向け、既存業務も含め、効果的・効率的な施策展開を図っていくことが重要と考えています。
128	企業ではないので行政サービスとして費用対効果ばかりに目が向くのはおかしい 市長がおっしゃる“いのち”をお金で考えられないに同意	
129	中核市となって、全国的なつながりを持つてほしい	
130	何のために中核都市に移行するのか疑問であったが説明をきいて少し解ったような気がした	
131	事務短縮ができる。新しいことがやりやすくなる。	
132	事務手続きの簡略化	
133	中核市になり多くの権利が移行するのなら、直接住民の意見が反映されやすくなるのであるなら、吹田市は大いに実行して下さい。	
134	市の主体性をより発揮できるのかなあとばくぜんと感じる事ができた	
135	一人立ちの時だ！⇒大人になる	
136	中核市移行は、子供の親離れ、独り立ち賛成です。	
137	理論どおりに税収がまわるなら中核市もメリットがあるのでは。	

	市民意見	市の考え方
138	吹田市としてのブランド力を向上させる上でも必ずプラスとなるはずなので賛成である	中核市移行は目的ではなく、移行してからがスタートであり、「地域の保健衛生の推進」、「行政サービスの効率化・迅速化」、「特色あるまちづくり」の実現に向け、既存業務も含め、効果的・効率的な施策展開を図っていくことが重要と考えています。
139	総論賛成	
140	皆がいろいろ思っているならきっちりしてほしいと思っている	
141	スピーディーに許可できるのは、よいと思う。肝心なのは内容	
142	市に要望しやすくなる。	
143	メンツを重視してのことかと疑っていたがどうもそうでもないようだったので少し安心した。	
144	吹田市の判断で動けるのはよい事	
145	きめこまかいところに目が届くようにしてほしいと思います。	
146	○周りの中核で財源がないという話を聞かない。中核は市のランクアップといういいイメージもある。	
147	今の吹田の豊かな財源でできるはず	
148	○健康へのビジョンをはっきりさせるのに中核市になる。	
149	府からお金をもらっている中で、独自性は出しにくいのか→中核になれば国との直接のやりとりができる	

	市民意見	市の考え方
150	(期待) (健康であること) 40年後のことは自己責任だと考えると…行政でお金だしてほしい。ムダ使いはやめてほしい	その他市への要望や感想など、いただいたご意見については関係部署と共有し、各種事業の実施に当たり、参考にさせていただきます。 また、中核市移行の必要性や本市の目指す姿、移譲される主な事務の概要とその効果等について、市民の皆様への情報発信や周知・説明については、今後も引き続き必要であると考えていますので、出前講座など、様々な機会を捉えて、丁寧な説明に努めてまいります。
151	将来的に少子高齢化という問題がある中、吹田市も間違いなく人口減少と予想される。中核都市規模でなくなっていると思われる	
152	衛生都市的でなく田園都市的な考えを導入のこと	
153	保育所に全員が入れる事を希望	
154	低年金で入れる老人ホームを増やしてほしい。	
155	デイケアセンターを増やして欲しい。	
156	老人ホームの型を多様化して欲しい。(グループホーム等)	
157	危機管理室の機能がまったくされていない。水害&津波がないと説明を受けた。	
158	パスポートセンターの設置してほしい。	
159	公務員は予算を使いきることを目標にする	
160	民間は予算が余ればもり上がる	
161	癒着でない	
162	市のアリバイ作りでしかない。	
163	先生が市の代理人	
164	職員さんに残業手当を支払ってください。議会では残業のために経費が無いので質疑を打切っているのに。	
165	中核市移行の如何にかかわらず市＝市長の協働、市民同志の協働の共通イメージが見えない	
166	健康街づくりを歌っているが、原子力防災がまったく何もできていない。	

	市民意見	市の考え方
167	インフルエンザ等の事も言っておられますが、副作用の事はいつも説明されていない。	その他市への要望や感想など、いただいたご意見については関係部署と共有し、各種事業の実施に当たり、参考にさせていただきます。 また、中核市移行の必要性や本市の目指す姿、移譲される主な事務の概要とその効果等について、市民の皆様への情報発信や周知・説明については、今後も引き続き必要であると考えていますので、出前講座など、様々な機会を捉えて、丁寧な説明に努めてまいります。
168	過去の議会での反対理由	
169	市会議員と職員（とりわけ幹部職）の対立？本来パートナーではないか。目に余る言動を目撃したので、不安。中核都市への移行にふさわしい言動は？	
170	中核都市にしようと誰が言い出したのか？	
171	職員の可成りは市外に住んでいるのに、知識意欲に不足ないのか	
172	プライドだけのため	
173	パブリックコメントを日本語併記に。⇔今後「意見聴取」など	
174	子どもの医療費、保育所の増設（待機児童をなくす）学級数を少数（35人学級）にして、学力や成長を充実させる等々の施策は中核市移行とどう関係あるか	
175	30年前吹田の福祉のよさを他市からきいていたが、近年は必ずしも言えない状況になっている	
176	（期待）日本のG N P ↓の中、税収をふやす吹田市の努力を…と	
177	東南海地震への危機管理を市民に教宣認識させる必要あり。特に排せつの問題で避難所でトイレをガマンして体調不良→内臓疾患→感染症etc. 公民館などと地域活動（民間人）との協力体制を計り、対策必要と思います。（食べ物にはガマン出来ても、トイレは止まらない。）特に衛生管理悪化する懸念を予想します。	
178	（課題）年金関係は国のまめんどうなことを市におろしている？→そうになると市民に迷惑かかっていると思う	
179	アリバイ工作の為のコメントは致しません	

	市民意見	市の考え方
180	これまでの会議で市民の声をいろいろまとめる役をされている久教授の今回の交換会の役割は見えませんでした。	その他市への要望や感想など、いただいたご意見については関係部署と共有し、各種事業の実施に当たり、参考にさせていただきます。 また、中核市移行の必要性や本市の目指す姿、移譲される主な事務の概要とその効果等について、市民の皆様への情報発信や周知・説明については、今後も引き続き必要であると考えていますので、出前講座など、様々な機会を捉えて、丁寧な説明に努めてまいります。
181	いろいろな意見をお聴できたこと、私の意見ものべさせていただいたこと、大変に良い機会を設けていただきありがとうございます。	
182	他の事案等についても、市民意見を集める良き手法として実施していただきたい。	
183	中核市移行に向けて、どういった取組が行われておられるのかが良く分かりました。また、中核市に移行することで、どういったことが可能になるのか、その効果などについても知ることが出来ました。	
184	口に出しておきたいことがあったので、同席の方との意見交換がうまく出来なかった。もう少し時間がほしかった。	
185	市主催のグループワークは2回目であるが、取り組みとしては、大変良い企画だと思う。	
186	細部に渡り（思惑がどんどん広がると）考えれば問題多あり。あまりに難しい問題なので少々場違いの感ありましたが、ご説明（市長外職員の方々）に依り少し落ちついて考えられました。正面から捉えてもつと外の面での事柄も思考範囲を拡大してみたいと思います。5人居れば5つの考えあり。イデオロギーでは考えたくない。面白く終えられました。	
187	意見交換会への提案 7:00pmからにして、30分ぐらい入室できるようにしたら、より意見が交換できるように思います。	
188	市民の方の関心が高いことに驚きました。	
189	明石市 市で児童相談所を持っている。	
190	税金は一同じ	
191	人口が減っている中、人が増えているというのは市に魅力がある	
192	吹田への愛着	
193	3度目の正直というのは？これまでは財政的な面で諦めた部分がある。	